

# 「2学期終了！計画的な冬休みを！」

生徒指導通心

第28号

# 縁（えん）

妻ヶ丘中生徒指導部

令和4年12月23日発行



今週は、スッキリしない天気が続きました。しかし、山間部では雪の便りも聞こえ、校舎から見える霧島山も雪化粧…。冬本番ですね。

そのような中、本日2学期終業の日を迎えました。まずは、大きな事故もなく、今日を迎えられたことに感謝したいと思います。皆さんにとって、この2学期はどのような時間だったのでしょうか。嬉しかったこと、悔しかったこと、感動したこと…。仲間達とたくさんの時間を共有したことで、実り多い2学期になってくれたと思います。しかし、令和4年は、あと一週間ほどあります。これまで挑戦しようと思っていたけれど、できていなかったこと。まだ口でできていない、大切な言葉。そういったやり残しのよう

なものがあるならば、**新年を迎える前に、思い切ってトライしてみるのも**いいかの知れませんか。

さて、以前から「～ランキング」というものを紹介してきました。2022年最後に紹介したいのは「伝え方グランプリ2022」というものです。2017年の創設から数えて、今年で6回目。各種メディアから年間300以上の名言を集める研究機関「伝え方研究所」によって、特にステキな10の言葉がノミネートされました。この「伝え方グランプリ」は、人を傷つけたり、悲しませたりする言葉がSNSなどで氾濫する一方で、**人を前向きにしたり、励ましたりする本来の言葉の力を見つめ直す**取り組みとしてスタートしたそうです。では、1位に選ばれた言葉は…



**想像力さえあれば、太古でも未来でも、宇宙にだっていける。**

戸田奈津子さん（翻訳家）

戸田さんという方は、『タイタニック』『E・T』『ミッション・インポッシブル』『パイレーツ・オブ・カリビアン』など名だたる映画にたずさわった有名な翻訳家ですが、「**ひとりの女性が一生で体験できることはわずかも、想像力があれば、どこへでも行ける**」という人間の無限の可能性を感じさせる点が評価されたそうです。あと一つ、紹介します。

**より弱く、よりカッコ悪く、よりダサくても、チームとしてやりたいカーリング、プレーを突き詰めれば、メダルを手にすることができる。**

吉田知那美さん（カーリング女子・日本代表）

北京オリンピックで、銀メダルに輝いた吉田選手の言葉。「より強く、よりカッコ良く」が問われるオリンピックで、**弱さも格好悪さもさらけ出し、「自分たち」の姿を突き詰める「強い姿勢」**を感じます。



このように、**言葉には「力」があります。しかし、「人を悲しませる」こともあります。**特に、悲しいニュースや、SNSでの誹謗中傷など辛い言葉が発信されています。その反面、**人を元気づけたり、励ましたりする力を宿す**のも言葉の特徴です。

さて、2023年は、果たしてどんな年になるのでしょうか。**人を前向きにさせる言葉たちとたくさん出会える「心温かい一年」になることを願っています。**

## 「ひとつのことば」 北原白秋

ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなかおり
ひとつのことばで	頭が下がり	ひとつのことばで	心が痛む
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつの心をもっている	
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく

今年一年、お世話になりました。  
良いお年をお迎え下さい。

